

事業名 地図を作り、生かす。 まちをより深く知り、情報を共有する

実施団体 上京ちず部

ワークショップ「地図づくり妄想会議」 「ちず端会議」を開催！

地図には、さまざまな人の「まちへの思い」や「目線」を定着することができ、場所・時を超えて共有することができます。地図を囲むと、地域に関わる発想が豊かに生まれます。



上京ちず部は、地域の情報（暮らしに寄り添った場の情報、構想、記憶）を持ち寄って地図を囲み、情報を重ねていく「妄想会議」を催し、世代や属性を超えた地域情報の共有を図りました。また、地域への思いや情報、好きな地図を持ち寄って「こんな地図があったらいいな」を語り合う「地図づくり妄想会議」を開催。両ワークショップを通じて、「地域で役立ち、楽しめる地図」づくりを進めます。

加工可能な白地図「上京OPENMAP」を活用！



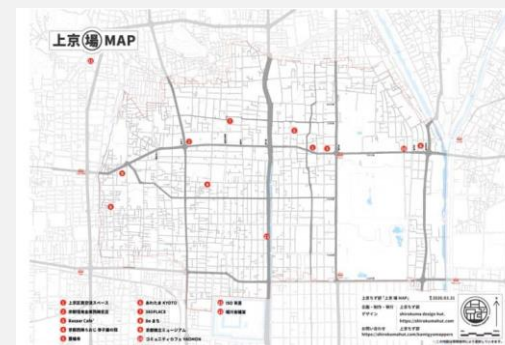
地域の多様な動き・情報・発想・アイデア…を情報共有できる「加工・更新可能な白地図」を制作。活用を始めています。私たちが作った上京「場」MAPの活用をはじめ、若者支援や地域の拠点活用事業…といった多様な市民活動団体から相談・依頼を受けています。

まちづくり、まち歩き、リサーチ、イベント、学区、町内会…

使う目的・エリアに応じて、地図を加工できます。掲載情報（道路・地点）を絞り込んだり、加えたり、表示の色や記号、雰囲気を変えることも可能です。地図の活用を目指す人やグループとの連携・協働を進めています。気軽に相談・お声がけください

上京区内の各地で「発見型まち歩き」を催行！

まち歩きは、知識伝達（インプット）型だけでなく、発見（アウトプット）型も、地域の魅力や課題を見いだす上で大切だと考えています。2019年度は、「千本100円商店街」に合わせた3コースの特色あるガイドコースや、大阪ガス都市魅力研究室が近畿各地で催している「Walkin' About」の西陣版を開催しました。詳細はサイトをご覧ください。



上京「場」MAP（次ページ末のサイトからご覧ください）

「上京ちず部」の発想と歩み … 活動4年目へ！

2017年3月23日発足

☆地域への関心は、人それぞれで複合的

ex 歴史、子どもの居場所、商店街、路地、町家、思い出、地藏盆、夢
防災、友達、銭湯、カフェ、福祉、買い物、産業、地域振興、まち歩き etc.

しかし…

☆情報は通り過ぎ、消えてしまう…

どうすれば??

☆情報を一覧できるのは「地図」!!

でも…

☆紙上の地図は動かさない。

☆書き込めども各自の手元にとどまる。

そこで…

☆「まち」で、情報を更新できる地図を共有したい!

↓

☆「上京OPENMAP」を制作・活用

(使うエリアや目的に応じて加工・編集できる白地図)

☆京のベンチャー企業 **Stroly**と連携、地図共有サービス活用

<https://stroly.com/>

☆地域で活動する人たち・グループが

「地図をつくる」「まちで動く」

「地図を集める」…を通して、

ひとりひとりの発見・発想を

皆で共有し、深める手だてを開発・普及

ワークショップ「ちず端会議」「地図づくり妄想会議」

…を開催! 詳しくは右記サイトから



こんなことも、やっています♪

☆まち歩きガイドのネットワークづくり

ちず部のメンバーには、まち歩きガイド経験者が多くいます。

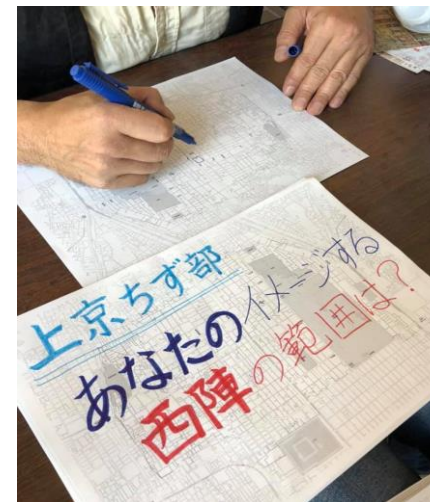
歴史と文化、なりわいの豊かな上京で活動するさまざまなガイドの皆さんとのつながりを生かして、取り組みの連携や地域の魅力の再発見に役立てます。

(2019年8月、上京クリエイティブネットワークと共催でガイドの連携事業を開催)



☆慣れた地域をいつもと違う視点で考えてみる

例えば、「あなたのイメージする『西陣』の範囲は?」



地域イベントで設けた「上京ちず部」コーナーで尋ねてみました。白地図に白地図に色鉛筆で囲んでもらうと、地域へのイメージの違いや共通点が浮かび上がります。地域への愛着や思い出といった話題で盛り上がります。過去には『上京』『出町』の範囲を尋ねたこともあり、さまざまな地域や設問で応用が可能です。「地域」を考え、深める道具として、地図を使ったワークショップをしてみましょう。

サイトをチェック!



(2020年4月現在)
ちず部「応援団」員もいるよ!

「上京ちず部」部員
石崎 立矢
南 知明
タナカユウヤ
関目 峻行
大武 千明
横山 恵

<https://shirokumahut.com/kamigyomappers/>